

2025年9月8日

**Nippon Gases Norway が新たな空気分離装置建設を決定
水産養殖および地域産業の成長支援と安定供給の強化を目指す**

日本酸素ホールディングス(株) (本社：東京都品川区 社長 CEO：濱田敏彦) は、当社の欧州事業会社 Nippon Gases Euro-Holding S.L.U. (本社：スペイン、マドリッド 会長・社長：ラウル・ジュディチ) のノルウェー子会社である Nippon Gases Norway を通じてヘルメラン (Hjelmeland) 市ヴィガネセット (Viganeset) 工業団地に新たな空気分離装置を建設することを決定しました (投資額：4 億ノルウェークローネ)。操業開始は 2027 年夏を予定しており、本プロジェクトは、ノルウェー南西部の水産養殖業および産業用・食品用・医療用ガスの安定供給体制の構築と、地域経済の活性化に寄与するものです。

ノルウェー南西部のヘルメラン市において、Nippon Gases Norway は、ノルウェー国内で 4 基目となる新たな空気分離装置の建設を決定しました。今回の投資額は 4 億ノルウェークローネとなり、地域の水産養殖業や産業、医療分野に対して、産業用・医療用ガスの安定供給体制を強化することを目的としています。

このプロジェクトは、ヘルメラン市や地元の水産事業者である Årdal Aqua との連携により、ヴィガネセット工業団地が建設地として選定されました。建設段階では地元企業への発注により、雇用創出にもつながるなど、地域経済の活性化に貢献します。

操業開始は 2027 年夏を予定しており、プラント稼働後は、地域のグリーントランジション (脱炭素化) やガスの安定供給体制の確立に寄与し、持続可能な産業基盤の構築を支援します。

日本酸素ホールディングスグループは今後もグローバルネットワークを活かし、産業・医療・環境分野でのイノベーションと社会価値の創出に取り組んでまいります。

以上

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの 4 つの地域で 30 超の国と地域をカバーする世界第 4 位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界 120 カ国以上に THERMOS ブランド製品を供給しています。1910 年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000 名以上の従業員を擁する私たちは、"The Gas Professionals" として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

日本酸素ホールディングス株式会社

広報部

03-5788-8513